令和６年度事業報告書

社会福祉法人 階上町社会福祉協議会

会務の運営

１．理事会

回	開催月日	開催場所	出席者数	議　　案	結果
1	令和6年 6月7日 (金)	ハートフルプラザ・はしかみ (大会議室)	理事 11名 監事 2名	議案第１号　職員給与規程の一部を改正する規程の制定について	原案決議
				議案第２号　臨時職員・パート職員・登録職員給与規程の一部を改正する規程の制定について	原案決議
				議案第３号　令和５年度事業報告並びに決算報告について	承　認
				議案第４号　令和６年度資金収支補正予算（案）について	原案同意
				議案第５号　令和６年度定時評議員会の招集について	原案決義
				議案第６号　令和６年度第１回評議員選任・解任委員会の招集について	原案決議
				人事案１号　評議員の選任候補者の提案について	原案決議
				人事案２号　評議員選任・解任委員の選任について	選　任
				協　　議　令和６年度共同募金配分申請事業について	原案承認
2	令和6年 11月6日 (水)	ハートフルプラザ・はしかみ (大ホール)	理事 10名 監事 2名	報告第１号　会長及び常務理事の職務の執行状況について	
				議案第１号　令和６年度資金収支補正予算を専決した事項の承認について	承　認
				議案第２号　令和６年度資金収支補正予算（案）について	原案同意
				議案第３号　令和６年度第２回評議員会の招集について	原案決議
				議案第４号　令和６年度第２回評議員選任・解任委員会の招集について	原案決議
				人事案１号　評議員の選任候補者の提案について	原案決議
3	令和7年 3月7日 (金)	ハートフルプラザ・はしかみ (大会議室)	理事 9名 監事 3名	報告第１号　令和６年度財政援助団体等監査の結果について	
				報告第２号　令和６年度共同募金配分事業変更計画について	
				報告第３号　会長及び常務理事の職務の執行状況について	
				議案第１号　経理規程の一部を改正する規程の制定について	原案決議
				議案第２号　職員給与規程の一部を改正する規程の制定について	原案決議
				議案第３号　臨時職員・パート職員・登録職員就業規則の一部を改正する規則の制定について	原案決議
				議案第４号　臨時職員・パート職員・登録職員給与規程の一部を改正する規程の制定について	原案決議
				議案第５号　令和６年度資金収支補正予算（案）について	原案同意
				議案第６号　令和７年度事業計画並びに資金収支予算（案）について	原案同意
				議案第７号　令和６年度第３回評議員会の招集について	原案決義
				人事案１号　苦情解決の取り組みに関する第三者委員の選考について	選　考

２．監査会

回	開催月日	開催場所	出席者数	内　　容	結果
1	令和6年 5月30日 (木)	ハートフルプラザ・はしかみ (中会議室)	監事 3名	１．令和５年度業務執行状況について ２．令和５年度事業報告書及び附属明細書について ３．令和５年度計算書類及び附属明細書、財産目録について	適正に処理されていることを認めた
2	令和6年 11月25日 (月)	ハートフルプラザ・はしかみ (中会議室)	監事 3名	１．令和６年度上半期業務執行状況について ２．令和６年度上半期事業報告書及び附属明細書について ３．令和６年度上半期計算関係書類及び附属明細書、財産目録について	適正に処理されていることを認めた

３．評議員会

回	開催月日	開催場所	出席者数	議　　案	結果
1	令和6年 6月24日 (月)	ハートフルプラザ・はしかみ (大ホール)	評議員 30名 理事 4名 監事 3名	報告第１号　令和６年度共同募金配分申請事業について 議案第１号　令和５年度事業報告並びに決算報告について 議案第２号　令和６年度資金収支補正予算（案）について	 承　認 原案承認
2	令和6年 11月29日 (金)		書面決議	議案第１号　令和６年度資金収支補正予算を専決した事項の承認について 議案第２号　令和６年度資金収支補正予算（案）について	承　認 原案承認
3	令和7年 3月24日 (月)	ハートフルプラザ・はしかみ (大ホール)	評議員 25名 理事 4名	報告第１号　令和６年度財政援助団体等監査の結果について 報告第２号　令和６年度共同募金配分事業変更計画について 議案第１号　令和６年度資金収支補正予算（案）について 議案第２号　令和７年度事業計画並びに資金収支予算（案）について 協　議　利用者からの苦情解決の取り組みに関する第三者委員の任命について	 原案承認 原案承認

４．評議員選任・解任委員会

回	開催月日	開催場所	出席者数	議　　案	結果
1	令和6年 6月12日 (水)	ハートフルプラザ・はしかみ (応接室)	委員 4名	人事案１号　評議員の補欠の選任について	選　任
2	令和6年 11月15日 (金)	ハートフルプラザ・はしかみ (応接室)	委員 4名	人事案１号　評議員の補欠の選任について	選　任

５．専門部会

（１）総務企画部会

回	開催月日	開催場所	出席者数	協　議　案　件
1	令和7年 2月26日 (水)	ハートフルプラザ・はしかみ (小会議室)	部会員 4名	１．自主財源について ２．介護保険事業について ３．ハートフルプラザ・はしかみ指定管理について ４．社会福祉大会について ５．その他

（２）地域福祉部会

回	開催月日	開催場所	出席者数	協　議　案　件
1	令和7年 2月13日 (木)	ハートフルプラザ・はしかみ (中会議室)	部会員 5名	１．令和７年度実施事業の検討について ２．その他

６．幹部会

回	開催月日	開催場所	出席者数	協　議　案　件
1	令和6年 6月3日 (月)	ハートフルプラザ･はしかみ (応接室)	5名	1　令和６年度第１回理事会提案議案について 2　令和６年度定時評議員会提案議案について 3　令和６年度第１回共同募金委員会運営委員会提案議案について 4　令和５年度介護保険事業等実績について 5　令和６年度社協会費について 6　第４６回町社会福祉大会について 7　第７４回三戸郡社会福祉大会被表彰候補者の推薦について 8　その他
2	令和6年 9月5日 (木)	ハートフルプラザ･はしかみ (応接室)	4名	1　令和６年度第２回共同募金委員会運営委員会提案議案について 2　令和６年度社協会費実績状況について 3　第４６回町社会福祉大会について 4　敬老会について 5　その他
3	令和6年 10月25日 (金)	ハートフルプラザ･はしかみ (応接室)	5名	1．令和６年度第２回理事会提案議案について 2．令和６年度社協会費実績状況について 3．ハートフルプラザ・はしかみ指定管理について 4．年末年越し給食サービス事業について 5．その他
4	令和6年 12月23日 (月)	ハートフルプラザ･はしかみ (応接室)	5名	1．令和６年度共同募金実績状況について 2．令和６年度介護保険事業等実績状況について 3．財政援助団体等監査の結果について 4．令和６年度第２回評議員会「決議の省略」の報告ついて 5．いきいきシルバーバンク事業について 6．職員募集について 7．その他
5	令和7年 3月3日 (月)	ハートフルプラザ･はしかみ (応接室)	4名	1．令和６年度共同募金配分事業変更計画について 2．令和６年度第３回理事会、第３回評議員会提案議案について 3．令和６年度第３回共同募金委員会運営委員会提案議案について 4．役員等の選任スケジュールについて 5．職員の任用について 6．その他

理事・監事・評議員等名簿

令和７年３月３１日現在

１．理　　事（定数９名以上12名以内）

会　　長	松橋竹子		
副会長	上平　稔		
副会長	東山京子		
常務理事	鳩　文男		
理　　事	平野悦子	天摩義昭	廣田勝三
	下沢育男	堰合勝美	岩城恵子
	梨子謙一	古川明美	

２．監　　事（定数３名以内）

上　博文　　郷州　満　　田中　昇

３．評議員（定数31名以上34名以内）

岩谷悦子	外崎礼子	土橋秀子	磯島富盛
松川純悦	土橋美智子	荻沢一信	鹿原　仁
日向登美男	守　政美	澁谷一枝	坂本憲子
田端　悟	下野スミ	下野禮知子	石川清香
鈴木晟爾	佐京忠史	中田美亀雄	坂　美智夫
平戸由紀子	畑中清二	袖平宏之	須藤留吉
松倉　正	野沢雅彦	野沢雅浩	上平啓作
山下美智昭	百目木和俊	境　誠一（新）	石渡　保（新）
鳩　忠行（新）			

４．評議員選任・解任委員会委員（定数４名）

上　博文　　郷州　満　　山内良子　　引敷林広貴（新）

※（新）は新任

実施報告

Ⅰ 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

１．地域住民の主体的福祉活動の推進

（１）生活支援体制整備事業

ほのぼの交流協力員やネット協力員による、一人暮らしの高齢者等の訪問活動を進め、互いに支え合う地域づくりを推進するとともに、関係機関等を含め高齢者等の生活を支援する体制づくりに努めた。また、民生委員、区長、ほのぼの交流協力員等との情報交換会を開催し地域の福祉課題等の把握に努めた。

〇ほのぼの交流協力員連絡会議の開催

ほのぼの交流協力員チーフとの事業推進のための連絡会議を開催した。

・期　日　　令和６年５月２４日（金）
・場　所　　ハートフルプラザ･はしかみ（中会議室）
・参加者　　２０名
・内　容　　ほのぼの交流会開催計画について
　　事業推進に係る質問事項について

〇情報交換会の開催

地区名	期　日	場　所	参加者	地区名	期　日	場　所	参加者
石　鉢	令和6年11月7日	石鉢ふれあい交流館	7	耳ケ吠東	令和6年11月26日	耳ケ吠東集会所	9
蒼　前	令和6年11月11日	蒼前集会所	6	荒　谷	令和6年11月29日	大蛇三地区集会所	１４
野場中	令和6年11月8日	石鉢ふれあい交流館	7	大　蛇			
角柄折	令和6年11月12日	新田集会所	4	追　越			
金山沢	令和6年11月14日	金山沢水郷館	6	榊	令和6年12月3日	道仏交流ｾﾝﾀｰ	7
田　代	令和6年11月15日	田代集会所	5	駅　前	令和6年12月4日	道仏交流ｾﾝﾀｰ	9
晴山沢	令和6年11月18日	わっせ交流ｾﾝﾀｰ	5	道　仏	令和6年12月5日	道仏集会所	9
平　内	令和6年11月18日	わっせ交流ｾﾝﾀｰ	9	小舟渡	令和6年12月11日	小舟渡集会所	8
鳥屋部	令和6年11月19日	森の交流館	3				
赤保内･耳ケ吠西	令和6年11月28日	赤保内集会所	6	合　計			１１４

〇ほのぼの交流協力員・生活介護支援サポーター研修会の開催

ほのぼの交流協力員、生活介護支援サポーター対象として研修会を開催した。

・期　日　令和７年２月１４日(金)
・場　所　ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）
・参加者　３５名
・内　容　講義「高齢者傾聴を学ぶ」
　　講師　青森県公認心理師・臨床心理士協会
　　臨床心理士・公認心理師　嵯峨　怜　氏

〇協議体会議への参加

・期　日　　令和７年３月１９日（水）
・場　所　　ハートフルプラザ・はしかみ（応接室）
・内　容　　令和６年度地域支援事業の実施状況について
　　令和７年度地域支援事業の実施予定について
・参加者　　３名（役場１名、社協２名）

〇地区別交流協力員・ネット協力員の状況

地区名	対象世帯	交流協力員チーム数	交流協力員数	ネット組織世帯	ネット協力員数
石　　鉢	３７	１	７	３	８（３）
蒼　　前	３５	２	５	１	４
野　場　中	５１	２	５	２	６
角　柄　折	２２	１	４	０	０
金　山　沢	５７	４	８	０	０
田　　代	２５	２	４	０	４
晴　山　沢	２４	１	５	０	０
平　　内	２０	２	７	０	０
鳥　屋　部	３０	２	７	０	０
赤　保　内 耳ケ吠西	３５	１	７	１	４
耳ケ吠東	３２	１	７	１	１
荒　　谷	２３	１	５	０	０
大　　蛇	４３	１	３	０	０
追　　越	１４	１	５	０	０
榊	２４	１	７	０	０
駅　　前	５１	４	９	０	０
道　　仏	２８	５	１２	２	１
小　舟　渡	３７	２	８	０	３
合　　計	５８８	３４	１１５	１０	３１（３）

※　（　）内は、ネット協力員も兼ねているほのぼの交流協力員の人数

（２）ほのぼの交流会開催事業

ほのぼの交流協力員と連携し感染予防・防止対策を行いながら事業の推進を図った。交流会開催にあたっての企画支援や介護予防運動指導員等の派遣調整を行い、参加者同士の交流と地域での仲間づくりを推進した。また、「ほのぼのサロン」についても介護予防体操を実施し、高齢者の閉じこもり防止と参加者同士の交流を図った。

〇交流会開催状況

地区名	開催回数	場　　所	参加者	地区名	開催回数	場　　所	参加者
石　　鉢	７	石鉢ふれあい交流館等	１８５	耳ケ吠東	５	耳ケ吠東集会所	９２
蒼　　前	６	蒼前集会所	１８８	荒　　谷	７	大蛇三地区集会所	９５
野　場　中	６	石鉢ふれあい交流館等	１８３	大　　蛇	７	大蛇三地区集会所	１０５
角　柄　折	６	新田集会所	８８	追　　越	６	大蛇三地区集会所等	５３
金　山　沢	６	金山沢水郷館等	７８	榊	４	道仏交流センター	９４
田　　代	６	田代集会所等	８０	駅　　前	６	道仏交流センター等	２１１
晴　山　沢	５	洋野町	６６	道　　仏	６	道仏集会所等	１７９
平　　内	６	わっせ交流センター	１１３	小　舟　渡	４	小舟渡集会所	１０８
鳥　屋　部	７	森の交流館等	１５１				
赤保内・耳ケ吠西	５	赤保内集会所	１０６	合　　計	105		2,175

※　金山沢は、水無、野場、金山沢、長根班それぞれで開催。赤保内は、耳ケ吠西と合同で開催。

〇ほのぼのサロン実施状況

場所	開催時期	開催回数	参加者
赤保内集会所	5/2, 9, 16, 23, 30	５	９３
道仏交流センター	6/4, 11, 18, 25	４	９６
田代集会所	7/3, 10, 17, 24, 31	５	４９
石鉢ふれあい交流館	8/7, 21, 28	３	３４
森の交流館	9/4, 11, 18, 25	４	４４
大蛇三地区集会所	10/2, 9, 16, 23, 30	５	６５
金山沢水郷館	11/6, 13, 20, 27	４	５３
わっせ交流センター	12/2, 9, 16, 23	４	３２
計		３４	４６６

（３）緊急通報システム福祉安心電話サービス事業

協力員や民生委員、県社協（中央センター）、関係機関等と連携を図りながら、１人暮らしの高齢者等が住み慣れた地域で生活する上での、緊急時の身体的安全と精神的安心のため、３６５日２４時間対応サービスとしての運営及び近隣住民による見守り活動の推進を図った。また、設置世帯を訪問し機器の点検や通報確認・消耗品等の交換と利用者の状況把握を行うとともに、事業周知に努めながら互いに支え合うネットワークづくりの推進を図った。

〇本年度設置台数　　２台
〇事業退会者数　　３名
〇年度末総設置台数　　９台
〇協力員数　　２５名
〇通報着信・対応状況

通報着信状況						
緊急	相談	火災	電源投入	ＡＣ停電	故障	計
			１	１	２	４

対応状況							
協力員要請	救急車要請	消防車要請	救急･協力員要請	消防･協力員要請	停電･協力員要請	社協対応等	計
						２	２

（４）敬老会開催事業

７５歳以上の高齢者を対象として、敬老会を開催する行政区及び記念品配布を実施する行政区に対し、開催経費の助成金を助成した。また、町記念品として名入りタオル（紅白各１本）としおりを作製し、行政区より対象者へ配布していただいた。

〇敬老会しおりの作成　　２，６００部

〇地区敬老会開催状況

地区名	開催期日	開催場所	対象者数	参加者			合計
				対象者	出席率	関係者等	
石　　鉢	令和6年9月16日(月)	石鉢ふれあい交流館	２０７	４５	21.7%	１５	６０
蒼　　前	令和6年9月15日(日)	蒼前集会所	２７１	６５	24.0%	１５	８０
野 場 中	令和6年9月22日(日)	石鉢ふれあい交流館	２５０	６４	25.6%	２６	９０
角 柄 折	令和6年9月15日(日)（３地区合同開催）	森の交流館	５５	１７	30.9%	１６	７６
金 山 沢			９１	２２	24.2%		
鳥 屋 部			７６	２１	27.6%		
田　　代	記念品配布						
晴 山 沢	令和6年9月15日(日)（２地区敬老会）	わっせ交流ｾﾝﾀｰ	３５	１１	31.4%	２６	５８
平　　内			４８	２１	43.8%		
赤 保 内	記念品配布						
耳ケ吠西	記念品配布						
耳ケ吠東	記念品配布						
荒　　谷	令和6年9月14日(土)（３地区合同開催）	大蛇三地区集会所	５９	２３	39.0%	２１	８６
大　　蛇			７４	２１	28.4%		
追　　越			７４	２１	28.4%		
榊	令和6年9月14日(土)	道仏交流ｾﾝﾀｰ	７６	２１	27.6%	２１	４２
駅　　前	令和6年9月15日(日)	ｱｸﾞﾘﾊﾟｰｸおおさわ	１２４	３０	24.2%	１１	４１
道　　仏	記念品配布						
小 舟 渡	令和6年9月16日(月)	小舟渡集会所	１３３	２８	21.1%	１７	４５
計			１，５７３	４１０	26.1%	１６８	５７８

２．当事者の社会参加の促進

（１）介護予防・地域支援事業の推進

高齢者の介護予防と生きがいの促進及び家族介護者支援のため、ハート生き活き事業、認知症カフェ設置事業、通所型サービスＣ事業、家族介護者交流事業を、町地域包括支援センターや関係機関との連携のもとに推進を図った。

①ハート生き活き事業

午前中は赤保内三地区以外、午後は赤保内三地区を対象に、ハートフルプラザ・はしかみにおいて毎週２回（月曜・木曜日）看護師による健康相談と入浴サービス並びに舞踊、手芸、裂き織り、体操、カラオケの趣味講座やレクリエーションを実施し、利用者の心身の健康保持及び要介護状態への予防を図った。

さらに、ボランティアによる見守りのもと、エクササイズ機器やリラクゼーション機器の使用により利用者の心身の健康保持及び要介護状態への予防・啓発を図った。

〇事業実施回数　　８７回（月曜日４０回、木曜日４７回）

〇延べ利用者数　　３，１０１名（月曜日１，２７６名、木曜日１，８２５名）

〇利用登録者数　　８７名（男性２４名、女性６３名）

〇実利用者数　　７３名（男性１９名、女性５４名）

〇新規利用者数　　２１名（男性　６名、女性１５名）

〇入浴サービス延べ利用者数　２，４６８名

〇趣味講座実施状況

講座名 項目	舞踊	手芸	裂き織り	カラオケ	体操	合計
実　施　回　数	４７	４７	８６	４０	１２	２３２
利 用 実 人 数	３	９	７	１９	２８	６６
利用延べ人数	１１５	１３８	２４２	３１５	２２２	１，０３２

講師　舞踊：木村キミ、手芸：竹本肥子、裂き織り：奥山キミ子

②認知症カフェ設置事業

認知症の方やその家族及び地域住民、ハート生き活き事業利用者を対象に、認知症についての相談や情報提供、助言のほか、認知症についての正しい知識や普及啓発を図るとともに、相互の交流の場として、ハートフルプラザ・はしかみに毎週２回（月・木曜日）認知症カフェとして「はあとカフェ」を設置した。

〇実施回数・時間　　８７回（月曜４０回、木曜４７回）午前１０時～１２時、午後1時～3時

〇実利用者数　　５７名（男性１５名、女性４２名）

〇延べ利用者数　　２，１９３名（月曜９００名・木曜日1，２９３名、男性５３９名・女性1，６５４名）

〇実施内容

・看護師及び専門職員等による相談、助言等

・認知症予防運動教室１２回（毎月１回）、参加者延べ人数２２２人

〇認知症予防運動教室

・外部講師

関下和彦（健康運動指導士）　　関下りち子（健康運動指導士）

小西池郁子（介護予防運動指導員）　阿世知知子（青森県作業療法士会）

・体操指導員

田代亜紀子、守　キヱ、上長根眞弓

〇カフェボランティア

利用者との話し相手や、飲物の提供のほか、感染防止のため室内の消毒・換気等、認知症カフェ運営にご協力をいただいた。（カフェボランティア登録者６名）

③通所型サービスＣ事業

介護予防を目的とし、ハートフルプラザにおいて「わんつか元気教室」を「運動器の機能向上」「栄養改善」「口腔機能の向上」「閉じこもり予防」「認知機能低下予防」「うつ予防」のプログラムを組合せ、集団的・通所形態により実施した。

【実施期間・回数・参加者数】

・３ヶ月（１１月～１月）　計１２回

・参加者１３名（男性１名、女性１２名）

〇運動器の機能向上

ストレッチ体操、筋力トレーニング、バランス感覚向上トレーニングや認知症予防体操等を実施し、運動機能の維持と向上を図った。また、参加者個々の目標と支援計画をもとに、体力や身体状況に合わせ難易度の違うメニューを実施した。筋力トレーニングは、下肢トレーニングを中心にコンディショニング期間、筋力向上期間、機能的運動期間と段階的に進め、参加者の継続意欲向上を図るため、毎回ホームプログラムを提示し、自宅でも運動に取り組めるよう推進を図った。

〇栄養改善

管理栄養士による栄養教育を実施し低栄養状態の改善を図った。

〇口腔機能の向上

歯科医、歯科衛生士による口腔機能の向上の必要性についての教育、口腔清掃の自立支援、摂食・嚥下機能訓練を行った。

〇指導スタッフ

作業療法士（運動指導１回）、介護予防運動指導員（運動指導３回）、管理栄養士（栄養教室１回）

歯科医、歯科衛生士（口腔教室１回）、町職員（体操１回）、看護師（１２回）

介助ボランティア（１２回：延べ２４名）、社協職員（運動指導１２回）

④家族介護者交流事業

介護者同士の交流と情報交換並びに心身のリフレッシュを図るため、在宅介護者の集いを開催するとともに、介護講座を開催し緊急時の対応方法の理解を図った。

〇第１回介護者の集いの開催

・期　日　　令和６年７月２６日（金）
・場　所　　おおのキャンパス
・参加者　　１２名
・内　容　　・ものづくり体験
　　・懇話会

〇介護講座の開催

・期　日　　令和６年１０月１８日（金）
・場　所　　ハートフルプラザ・はしかみ
・参加者　　１７名
・内　容　　・普通救急講習会
　　講師：八戸東消防署階上分署
　　・会員交流会（モルック）

〇第２回介護者の集いの開催

・期　日　　令和７年２月４日（火）
・場　所　　南部町「チェリウス」
・参加者　　１７名
・内　容　　・血流おそうじ体操
　　講師：はしかみベース　リトルシャック　はんな　氏
　　・懇話会

（２）福祉団体等の育成支援

事務局を担当する福祉団体ごとに、会員加入促進による組織の強化を重点目標として事業推進に努めた。

〇事務局担当福祉団体

①階上町老人クラブ連合会　②階上町身体障害者福祉会　③階上町手をつなぐ育成会
④階上町母子寡婦福祉会　⑤階上町共同募金委員会　⑥階上町ボランティアサークルけやき
⑦階上町在宅介護者の会

（３）ハートフルプラザ・はしかみの管理運営（指定管理事業）

利用者の平等な利用の確保や安全性・利便性の確保に努め管理運営を推進するとともに、利用者のニーズや意見・要望を把握しながら誰もが利用しやすい管理運営に努めた。

また、町担当課との連絡・調整を図りながら、安全な施設利用のための対応を図るとともに、電気料や燃料費をはじめ物価が高騰する中、利用者の理解と協力を得ながら節電等管理経費の節減に努め、管理運営を図った。

〇施設の利用状況

・利用回数　　１，１５５回（内使用料領収の回数：５８回）
・月平均利用回数　　９６回（内使用料領収の回数：　４回）
・利用人数　　２６，４７１名（内使用料領収の人数：１，４６５名）
・月平均利用人数　　２，２０５名（内使用料領収の人数：　　１２２名）

〇図書の利用状況

・利用人数　　７１１名
・月平均利用人数　　５９名
・利用冊数　　１，９９４冊（児童図書７２５冊、一般図書１，２６９冊）
・月平均利用冊数　　１６６冊（児童図書　６０冊、一般図書１０５冊）

〇施設維持管理、設備機器点検内容

①浄化槽維持管理業務

保守点検：毎月１回、浄化槽清掃：年１回（12 月）、水質分析検査：年１回（11 月）

法定検査：年１回（9 月）

②消防設備保守点検業務

外観及び機能保守：年２回（6月･12月）、総合保守：年１回（6月）、防火対象物点検：年１回（9月）

③自家用電気工作物保安管理業務

月次点検：需要設備２ヶ月に１回（5 月･7 月･9 月･11 月･1 月･3 月）、年次点検：年１回（1 月）

④清掃業務

床ワックス清掃：年３回（7 月･12 月･3 月）、ガラス清掃：年２回（5 月･11 月）

カーペット洗浄：年２回（4 月･11 月）

⑤ボイラー空調設備及び給湯ボイラー保守点検

ボイラー空調設備保守点検：年２回（7月･10月）、給湯ボイラー保守点検：年１回（7月）

⑥重油地下タンク清掃及び漏洩検査業務：年１回（7 月）

⑦ステップリフト点検業務：年２回（7 月･12 月）

⑧ピアノ調律・点検：年２回（4 月・10 月）

⑨レジオネラ属菌分析：年１回（12 月）

⑩警備業務委託

警備員による土日祝日及び夜間（17 時～21 時 30 分）の施設の戸締り、設備巡視、図書貸出の受付等

⑪機械警備委託（セコム）

夜間（17 時～翌日 8 時）等の施設の防犯、火災異常の機械警備

⑫自動ドア保守管理：年２回（7 月・1 月）

〇消防訓練の実施

１回目

・期　日　　令和６年４月２３日（火）

・参加者　　１３名（職員６名、警備関係者５名、消防設備関係者２名）

・内　容　　通報訓練、避難訓練、消火訓練

２回目

・期　日　　令和６年１０月２５日（金）

・参加者　　１６名（職員７名、警備関係者５名、消防設備関係者４名）

・内　容　　通報訓練、避難訓練、消火訓練

〇意見・要望等の状況（意見箱によるもの）

・意見等なし

（４）いきいきシルバーバンク事業

健康で働く意欲のある高齢者の経験や知識、技術を活かし、就労を通じて生きがいづくりや健康・福祉の増進を図るため、町より三陸復興国立公園等道路維持作業業務等を受託し階上岳登山道等の草刈り作業を進めるとともに、就業登録者の募集を図りながら一般世帯からの草刈り作業等の対応を図った。

〇就業登録者　６８名（内今年度新規登録者５名）

〇刈払機取扱安全講習会の開催

・期　日　　令和６年５月２０日（月）

・場　所　　ハートフルプラザ・はしかみ（大会議室）

・参加者　　１７名

・講　師　　三八地方森林組合　森林整備課係長兼新井田川流域支所長　沼沢　佳哉　氏

・内　容　　講義、刈払機取扱実技

〇三陸復興国立公園等道路維持業務等に係る作業打合せ会の開催

・期　日　　令和６年５月２７日（月）

・場　所　　ハートフルプラザ・はしかみ（大ホール）

・参加者　　４０名（登録者３６名、現場管理者２名、事務局２名）

・内　容　　作業方法、作業場の心得、留意事項等について

〇三陸復興国立公園等道路維持作業業務等草刈作業路線

①登山口・石倉線（町道5,700m）2回
②寺下線（林道2,200m）2回
③寺下・土折線（町道17,500m）2回
④舘神社付近（ﾄﾚｲﾙ300m）2回
⑤上野・廿一線（町道500m）2回
⑥銀杏木・寺下線（町道1,200m）2回
⑦野沢・燈明堂下（町道1,100m）2回
⑧鳥屋部線（林道2,500m）1回
⑨耳ケ吠・寺下（町道1,400m）1回
⑩平内線（林道2,100m）1回
⑪田代線（林道2,900m）1回
⑫放牧場前（1,100m）2回
⑬中屋敷・岳線（町道2,200m）1回
⑭臥牛園　2回
⑮放牧場遊歩道等　2回
⑯大開平遊歩道（ﾄﾚｲﾙ）2回
⑰熊野堂（ﾄﾚｲﾙ）2回
⑱農村公園　2回
⑲三陸道溜池　1回
⑳旧田代小中教員住宅跡地　2回
㉑旧新田児童館跡地（2回）
㉒旧給食センター周辺　2回
㉓八工大二高付近（2回）
㉔榊山町営住宅敷地（2回）
㉕蒼前西7丁目調整池前（2回）
㉖金平線（2回）
㉗蒼前東5丁目調整池脇（1回）

〇三陸復興国立公園等道路維持作業業務等草刈作業状況

・作業日数　　４２日間（６月:１４日、７月:１０日、８月:４日、９月:１４日）
・実作業人員　　登録者４０名、現場管理者２名
・作業人員　　延べ６１９名（登録者５３３名、現場管理者８２名、事務局４名）

〇住民ニーズへの対応

一般家庭の草刈り、草取り作業等軽易な作業の対応を図った。

・作業依頼件数　　９７件
・作業依頼者数　　４４名
・作業状況

依頼内容／内訳	草取り	庭木剪定	草刈り	農作業	除草剤散布	大工仕事	屋外雑役	計（延べ）
依頼件数	２０件	１１件	５８件	２件	３件	２件	１件	９７件
作業人員	５６名	１４名	７８名	４名	３名	２名	１名	１５８名
作業日数	２８日	１８日	６８日	２日	３日	２日	１日	１２２日
延べ作業人員	７１名	２４名	９３名	４名	３名	２名	１名	１９８名

・手数料収入　　７３，６６０円

〇作業中の事故

・物損　１件（刈払機の飛び石による住宅の窓ガラスの破損）
※加入している損害賠償保険により対応した。

３．福祉課題の把握

民生委員児童委員やほのぼの交流協力員、関係機関等と連携を図りながら、地域の福祉課題やニーズ把握等に努めるとともに、介護保険サービスの利用者アンケート調査を実施し、課題やニーズの把握に努めた。

Ⅱ 福祉教育・ボランティア活動の推進

１．福祉意識の高揚と人づくり

（１）第４６回階上町社会福祉大会

〇期　日　　令和６年１１月２２日（金）
〇場　所　　ハートフルプラザ・はしかみ
〇ｽﾛｰｶﾞﾝ　「ともに生き支えあう福祉のまちづくり」
〇参加者　　１７３名
〇内　容　　講演「身体を動かす機会を増やそう！」」～フレイル予防のために～
　講師：東北メディカル学院　理学療法学科　専任教員　山田文武氏
ボランティア推進校活動発表　　階上中学校
大会式典　社会福祉功労者表彰等
（表彰者：伝達６名、表彰８名、感謝２個人・２団体、福祉作文入選者２名）
社会福祉作文発表（最優秀）　発表者：松川詠穂（階上小５年）、荒道咲月（道仏中３年）

（２）福祉サポーター養成講座の開催

〇期　日　　令和６年１２月２５日（水）
〇場　所　　ハートフルプラザ・はしかみ（中会議室）
〇参加者　　１３名
〇内　容　　講義「認知症への理解を深める」
　講師　一般社団法人青森県作業療法士会　地域社会振興部副部長　阿世知知子　氏

（３）実習生の受入れ

訪問介護員実習生を受入れ、福祉に関わる人材育成を図るとともに、実習指導をとおして職員の専門性の向上に努めた。（実習生受入人数：１名　八戸学院短期大学部学生）

２．福祉教育の推進

（１）ボランティア推進校事業の推進

町内全小中学校（小学校４校、中学校２校）を事業指定し、学校ごとの計画によりボランティア活動や体験学習などをとおして、福祉への理解を深める取り組みを推進した。また、事業推進会議において福祉教育プログラムの周知を図り、事業の推進と活性化に努めた。

〇事業推進会議の開催

・期　日　　令和６年５月１０日（金）
・場　所　　ハートフルプラザ・はしかみ（中会議室）
・参加者　　８名（担当教師５名、会長、事務局２名）
・内　容　　事業内容・留意事項説明、質疑・意見交換

〇活動状況（活動報告書より）

学校名	主な活動内容
石鉢小学校	〇学校だよりへの活動掲載　〇町の巨木調査　〇八戸第一養護学校との交流　〇早朝奉仕環境美化活動　〇地域の高齢者との交流　〇赤い羽根共同募金の募金活動、ベルマーク収集、プルタブ収集　〇太鼓部の高齢者への演奏
階上小学校	〇学校だより等をとおして活動状況掲載　〇通学路の安全確認調査　〇地域の施設等の資源調査　〇階上岳の清掃登山　〇草刈り等の清掃活動　〇ほのぼの交流会での高齢者との交流　〇老人クラブ会員との農業体験をとおしての交流　〇赤い羽根共同募金等の募金活動　〇ペットボトル蓋の収集活動　〇臥牛苑、臥牛山祭等でのこどもえんぶり披露をとおしての地域住民との交流　〇赤保内小学校、新郷小学校児童との合同遠足、オンライン学習等での交流
赤保内小学校	〇学校だより等への活動掲載　〇伝統文化継承のため臥牛山祭、運動会での駒踊り披露　〇米づくり、畑作体験学習をとおしての地域住民との交流　〇福祉作文への取り組み　〇地域あいさつ運動等を通しての地域住民との交流　〇赤い羽根共同募金等の募金活動　〇駒踊り伝承活動をとおしての地域住民との交流　〇読み聞かせボランティアの方との交流
道仏小学校	〇学校だより等への活動掲載　〇福祉作文への取り組み　〇地域探検をとおしての地域住民との交流　〇校内、海岸、階上駅等の環境美化活動　〇塩作り体験学習をとおして環境美化意識の向上　〇米作り体験をとおしての地域住民との交流　〇神楽組の方との道仏子ども神楽の指導を受けながらの交流と創立150周年記念式典での発表　〇学区のゴミ拾い活動　〇赤い羽根共同募金等への取組み
階上中学校	〇学校だより等への活動掲載　〇学区の安全安心マップ制作　〇側溝の泥上げ、落葉の廃棄、除雪作業等の学校環境整備　〇避難所設営訓練の実施　〇赤い羽根共同募金等への協力や街頭募金の実施　〇町社会福祉大会でのボランティア推進校事業活動発表
道仏中学校	〇学校だより等への活動掲載　〇活動の展示発表　〇緑の羽根共同募金等の募金活動　〇草刈り、花壇整備　〇通学路、海岸や公共施設等の清掃活動　〇ゴミの分別学習　〇大蛇海鳴りソーラン、小舟渡沖上げ音頭披露をとおしての地域住民との交流

（２）幼児と高齢者のふれあい事業

町内児童福祉施設（保育園４ヶ所）において、施設の行事等をとおして地域の高齢者と幼児のふれあい交流の促進に努めた。

〇事業推進会議の開催

・期　日　　令和６年５月１０日（金）
・場　所　　ハートフルプラザ・はしかみ（中会議室）
・参加者　　６名（担当職員３名、会長、事務局２名）
・内　容　　事業内容・留意事項説明、質疑・意見交換

〇活動状況（活動報告書より）

施設名	主な活動内容
石鉢保育園	ちびっこ夏祭り、運動会、ふれあい発表会をとおしての交流
階上保育園	ごみひろいと草取り、町老人クラブ連合会スポーツ大会、運動会、発表会 卒園式をとおしての交流
はまゆり保育園	ほのぼの交流会、夕涼み会、運動会とおしての交流
道仏保育園	いもまき、さつまいも苗植え、旧端午の節句、七夕のつどい、大根まき、じゃがいも・大根・さつまいも掘り、七五三詣り、クリスマス会をとおしての交流

（３）第４５回社会福祉作文の募集と文集「そよ風」の発行

〇応募総数　７８編（小学生２５編、中学生５３編）　町内全小中学校より応募

〇審査会の開催

・期　日　　令和６年１０月１７日（木）
・場　所　　ハートフルプラザ・はしかみ（中会議室）
・出席者　　審査員５名、事務局
・内　容　　委員長選出、入選作審査（最優秀等入選１３作品を決定）

〇入選作品を掲載する文集「そよ風」第４５集を発行（１８０部）するとともに、社協だより、ホームページへの掲載により、児童生徒の福祉に寄せる思いの理解と啓発を図る。

（４）福祉教育プログラムの実施

ボランティア推進校事業や幼児と高齢者のふれあい事業をとおして、学年や年代ごとの福祉教育プログラムの周知・実施を図り、体系的な福祉教育の推進に努めた。

３．ボランティア活動の推進

ボランティア団体、グループ活動情報登録の周知を図るとともに、安心、安全に活動できるようボランティア保険の周知と加入促進を図った。

〇ボランティア保険の加入

・加入者数　　２１６名

Ⅲ 福祉情報の提供・総合相談・自立生活支援機能の充実

１．福祉情報の提供

（１）広報誌「社協だより」の発行

社協活動や福祉事業への理解と啓発及び情報提供のため、広報誌として「社協だより」の毎月発行を行い広報活動の充実に努めた。

〇社協だよりの発行

・発行回数　　毎月発行（年度内４８ページ）２色印刷

・発行部数　　５４，０００部（４，５００部×１２ヶ月）

※有料広告の掲載事業所はなかった。

（２）社協ホームページの運用・更新

社協ホームページにより、インターネットによるタイムリーな事業や活動状況の周知を図った。

（HP アドレス　http：//www.shakyo.or.jp/hp/220/）

２．相談体制の充実

住民の抱える問題や悩み事が更に複雑化、深刻化する中で、行政相談員・人権擁護委員をはじめ関係機関との連携のもとに相談支援を図るとともに、高齢者相談窓口として町地域包括支援センターとの連絡調整を図りながら事業の推進に努めた。また、専門相談のニーズに対応し毎月１回弁護士による法律相談を実施し、相談者の抱える問題の解決に努めた。

〇相談員数　　１０名（民生委員２名、学識経験者８名）

〇相談所開設日数　３４日（毎週火曜日定例相談所開設、毎月第３火曜日合同相談所開設、毎月第４火曜日法律相談所開設）

〇利用者数　　３３名（男性１１名、女性２０名、同伴者２名）

〇相談件数　　３１件（心配・合同相談：１１件、法律相談：２０件）

〇運営委員、相談員合同会議（事例研究含む）の開催

・期　日　　令和７年２月２８日(金)

・場　所　　ハートフルプラザ・はしかみ(大会議室)

・出席者　　１４名(相談員９名、運営委員２名、会長、事務局２名)

・内　容　　令和６年度相談利用状況について、令和６年度相談事例について
令和７年度相談所の運営について、令和７年度相談所開設日程について

〇相談項目ごとの件数と処理状況

相談事項 / 件数		1 生計	2 年金	3 職業・生業	4 住宅	5 家族	6 結婚	7 離婚	8 健康・保健・衛生	9 医療	10 人権・法律	11 財産	12 事故	13 児童福祉・母子保健	14 教育・青少年	15 障害者（児）福祉	16 母子福祉・父子福祉	17 老人福祉	18 苦情	19 その他	合計
取扱件数		1			4	2		1		2	5	8	1					1		6	31
処理状況	解決				4	2				1	5	7	1					1		5	26
	再来																				
	民生委員																				
	他機関	1						1		1		1									4
	その他																			1	1

３．自立生活支援の充実

（１）給食サービス事業

〇サービス実施回数　　１０１回（水曜日５０回、金曜日５０回、木曜日１回）
〇サービス利用実人数　　２０名（一人暮らし８名、その他１２名）
〇サービス利用延べ人数　　７０５名（水曜日３４８名、金曜日３５２名、木曜日５名）
〇ボランティア延べ人数　　９４名（運転３名、補助９１名）
〇弁当依頼事業所　　社会福祉法人サポートセンター虹（八戸市）
〇年末年越し配食サービス（１２月３１日実施）

７５歳以上の一人暮らしの高齢者で、大晦日の年越しを一人で過ごされる方を対象に、ボランティアの協力を得ておせち料理の配食を実施した。

・利用者数　　１３６名
・配食ボランティア　　２１名

（２）福祉機器貸与事業

介護や支援を必要とする高齢者等を対象として福祉機器の貸出しを行い、介護負担の軽減を図るとともに、在宅での自立生活支援を図った。また、機器整備につながるプルタブの収集に努めた。

〇利用状況

機器名	前年度末機器台数	寄附受入台数	廃棄処分台数	年度末機器台数	前年度末貸出台数	貸出台数	返却台数	年度末貸出台数
介護用ベッド	６	０	１	５	６	０	１	５
車椅子	５０	１	１	５０	３２	１９	２３	２８

〇プルタブ収集状況　　年度内収集量　161kg（換金額：17，732円）

（３）日常生活自立支援事業

高齢や障害等による軽度な判断能力の低下に伴い、一人で生活することの不安感や日常的な金銭管理が困難な高齢者等を対象として、基幹的社協（八戸市社協）や関係機関、生活支援員と連携のもとに日常生活上の支援を図った。

・利用者数　　１名
・生活支援員　　１名

（４）介護保険サービス事業等の推進

高齢者や障がい者の自立した在宅生活支援のため、保健・医療・福祉の関係機関や町地域包括支援センターと連携し、利用者本位のサービスとして事業の推進を図るとともに、感染症や自然災害に関わる業務継続計画（ＢＣＰ）の策定を図った。

①居宅介護支援事業

〇介護支援専門員の配置　１名（専任１名）
〇ケプラン作成実利用者数　３８名（男性１６名、女性２２名）
〇ケアプラン作成延べ利用者数　３６２名
〇予防ケアプラン作成実利用者数　５名（男性２名、女性３名）
〇予防ケアプラン作成延べ利用者数　５２名
〇要介護認定調査件数　３７件
〇利用者アンケート調査　調査対象者数　３２名
回答者数　２４名（回答率 75.0%）
実施時期　令和７年１月
調査方法　調査票の郵送

②訪問介護事業（特定事業所加算Ⅱ算定）

〇訪問介護員数　６名（常勤１名、継続雇用１名、登録型４名）
〇実利用者数　５７名（男性１７名、女性４０名）
〇期間内利用者合計　４２１名（介護２７５名、総合事業１４６名）
〇延べ利用日数　３，６２９日（介護２，８４０日、総合事業７８９日）
〇延べ利用回数　４，５４３回（介護３，７５５回、総合事業７８８回）
〇延べ利用時間数　３，１６８時間２３分（介護２，３８２時間３分、総合事業７８６時間２０分）
〇実習生の受入れ　１名（八戸学院大学短期大学部介護福祉学科生１名）
〇実習日数　２日
〇利用者アンケート調査　調査対象者数　３６名（介護保険利用者３３名、障害福祉サービス利用者３名）
回答者数　３３名（回答率 91.7%）
実施時期　令和７年１月
調査方法　調査票の郵送、聞き取り

③居宅介護事業（障害福祉サービス）

〇実利用者数　４名（視覚障害１名、下肢機能障害２名、知的障害１名）
〇期間内利用者合計　３４名
〇延べ利用日数　４１８日
〇延べ利用回数　４１８回（通院介助１５回、家事援助４０３回）
〇延べ利用時間数　４５６時間（通院介助５３時間、家事援助４０３時間）

（５）福祉サービス苦情解決体制

〇苦情解決第三者委員会の開催

・期　日　令和６年５月２２日（水）
・場　所　ハートフルプラザ・はしかみ（小会議室）
・参加者　６名(委員３名、会長、事務局２名)
・内　容　苦情解決の取組み及び苦情等受付状況の説明

〇福祉サービス苦情受付状況

年度内における苦情の申出はなかった。

（６）各種資金貸付事業の推進

低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯等の日常生活上の経済的支援と自立に向けて、民生委員や県社協、町担当課及び生活困窮者自立支援窓口等との連携のもとに、資金貸付事業の対応を図った。

①たすけあい資金の貸付

〇前年度末貸付原資金額　７，５８２，０９９円
〇前年度末貸付金額　２，８０２，９１４円（４４件）
〇本年度貸付金額　０円（　０件）
〇本年度償還金額　９８，０００円（　２件）
〇本年度末貸付金総額　２，７０７，９１４円（４２件）
〇本年度末貸付原資金額　７，５８４，５０９円

②高額療養費資金の貸付

〇前年度末貸付原資金額　４，１８９，９７２円
〇前年度末貸付金額　５０４，０００円（　２件）
〇本年度貸付金額　０円（　０件）
〇本年度償還金額　０円（　０件）
〇本年度末貸付金総額　５０４，０００円（　２件）
〇本年度末貸付原資金額　４，１８９，９７２円

③生活福祉資金の貸付

〇本年度決定金額　０円（　０件）
〇利用状況

資金種類	利用件数	貸付決定金額	貸付残高（元金）
教育支援資金	８	４，６４１，５００円	３，６１７，２４０円
緊急小口資金	２	１５０，０００円	４１，０００円
離職者支援資金	１	２，４００，０００円	２，０５７，１６０円
総合支援資金	１０	１１，２５５，０００円	８，３４７，４５０円
特例緊急小口資金	２１	３，９００，０００円	２，８７４，９６０円
特例総合支援資金	１１	５，４００，０００円	４，９５３，７５０円
計	５３	２７，７４６，５００円	２１，８９１，５６０円

〇生活福祉資金貸付調査委員会の開催

・期　日　令和６年５月１５日（水）
・場　所　ハートフルプラザ・はしかみ(小会議室)
・参加者　８名（委員５名、会長、事務局２名）
・内　容　委員会の目的、役割、資金種類、資金利用状況の説明
　　償還免除申請についての説明

（６）フードバンク事業

生活困窮に陥っている世帯に対し、町担当課や生活困窮者自立支援窓口等と連携し相談支援と一時的な食糧支援を行った。

・食糧配付世帯数　１３世帯（配付食糧数：６８０食）

（７）乳児用おむつ等支給事業

乳児を養育する保護者に対し、町担当課と連携し乳児用おむつとおしり拭きをセットで支給し子育て支援を図るとともに、社会福祉への理解を図った。

・支給世帯数　３４世帯（３６名）

Ⅳ 災害時支援体制の充実

町総合防災訓練において、訓練の一環として災害ボランティアセンター設置訓練を初めて実施した。

青森県社協の派遣要請に対応し、豪雨災害にあった山形県酒田市へ災害ボランティアセンター運営の応援のため職員の派遣を行った。また、大規模災害時等における業務継続計画（ＢＣＰ）の策定を図った。

〇階上町総合防災訓練における災害ボランティアセンター設置訓練

・期　　日　令和６年１０月６日（日）

・場　　所　ハートフルプラザ・はしかみ

・参 加 者　登録ボランティア１４名、職員３名

〇災害ボランティア等登録状況

・災害ボランティア全登録者数　１９名

・災害ボランティアセンター運営スタッフ全登録者　１７名

〇山形県酒田市社協への職員派遣

・派遣職員　１名（森事務局次長）

・派遣期間　令和６年９月１日から９月７日まで

Ⅴ 社協の機能・体制強化

１．社協組織の強化

継続的・安定的な事業の実施や経営基盤の強化に向けて、専門部会や各委員会等での協議検討を進めるとともに、社会福祉法や介護保険法をはじめ関係法令等に則した事業の推進と組織の運営を図った。また、インターネットバンキングサービス（あおぎん AB-web）の利用により効率的な経理事務と経費削減に努めるとともに、外部専門家（税理士）による財務諸表等のチェック・指導を受けながら適正な組織運営に努めた。

２．財政基盤の整備

（１）社協会員の加入促進

各地区とも区長、班長の方々のご協力をいただき、社協事業の理解と周知を図りながら会員加入の促進に努めた。また、町内法人・事業所の団体会員への加入促進に努めた。

〇会員数

会員区分	令和６年度	令和５年度	比較増減
普 通 会 員（1,000 円）	２，７４６	２，８４１	△９５
賛 助 会 員（2,000 円）	６５	６２	３
特別賛助会員（5,000 円）	２１	２１	０
団 体 会 員（3,000 円）	５４	５４	０
合　　計	２，８８６	２，９７８	△９２

（２）公費助成の確保

社協が公共性の高い地域福祉推進の中核的組織であることに鑑み、地域福祉推進のための補助金・受託金について、町の理解と公費助成の継続的交付のための働きかけを行った。

〇補助金、委託金に係る陳情

・期　日　　令和６年１１月２９日（金）

・場　所　　役場２階第２会議室

・出席者　　１２名（町長、副町長、総務課長、総合政策課長、介護福祉課長、福祉ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰ、主幹、正副会長、常務理事、事務局）

（３）共同募金運動への協力

階上町共同募金委員会を中心として、共同募金運動の趣旨や配分事業の周知と理解を図りながら、地域福祉活動を支える募金運動への協力を図った。

〇目標額　　２，７６０，０００円

〇募金実績概要

募金種別	実績額
戸　別　募　金	１，９６４，０４０円
法　人　募　金	３００，５００円
学　校　募　金	４５，１０１円
職　域　募　金	３６，３４２円
そ　の　他	４８０，９７６円
合　計	２，８２６，９５９円

３．職員研修の充実等

職員の社会福祉援助者としての資質向上を図るため、県社協主催の研修会をはじめ外部研修会への参加を図るとともに、職員会議においての事業検討や福祉サービス向上のための協議及び自己評価の取り組み等をとおして、社会福祉援助者としての職員の資質向上に努めた。

〇職員会議の開催

毎月１回（１２回開催）

〇社協自己評価の実施

評価方法：青森県市町村社会福祉協議会自己評価指針により評価を実施した。

評 価 者：正職員全員（６名）

実施時期：令和６年１２月～１月（自己評価指針評価シートによるチェック、集計）

２月（評価まとめ）

〇外部研修参加状況

・事務局職員

社会福祉法人会計実務講座

県社協生活福祉資金貸付事業担当者研修会

三八管内社協職員研修会（郡社協災害時広域連携研修会と併催）　等

・介護事業職員

介護サービス情報の公表制度「10 のテーマに係る研修会」

主任ケアマネージャー研修

町介護保険事業所連絡会情報交換会　等

令和６年度事業報告附属明細書

令和６年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しない。

社会福祉法人
階上町社会福祉協議会
会　長　　松橋　竹子